

薬学教育モデル・コア・カリキュラム —令和4年度改訂版— について

薬学教育モデル・コアカリキュラム—平成25年度改訂版—
との違いを中心に

2024年度実務実習に関する説明会

北陸大学
高野克彦

2024/1/21

キャッチフレーズ

- R4版
「未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつな
ぎ活躍できる医療人の養成」
- H25版
医療、保健、福祉等における社会的ニーズに貢献で
きる薬剤師育成
 - ▶「薬剤師として求められる基本的な資質」の設定
 - ▶学習成果基盤型教育の概念の導入

あと4年？

年度	項目	
令和4年度 (2022年度)	コアカリ改訂 (3月)	
令和5年度 (2023年度)	ガイドライン公表 (12月)	高校3年
令和6年度 (2024年度)	1年次入学生より改訂コアカリ適用	大学1年
令和7年度 (2025年度)	2025年問題	2年
令和8年度 (2026年度)		3年
令和9年度 (2027年度)	改訂コアカリに対応した実務実習開始見込み (2月より)	4年

8疾患

- 大学及び実習施設で協議して、実習内容に大き
な偏りがないように努める。
- 「D-2 薬物治療につながる薬理・病態」に提
示された疾患群を参照して医療の現状に則した
薬剤師として基本的に学修が必要と思われる疾
患を大学と施設で協議して確認しておく。

=> 大きくは変わらない？

10の資質

- 位置付け
 - R4版
 - 生涯にわたって目標とする「A. 薬剤師として求められる基本的な資質・能力」として
 - H25版
 - 卒業時に必要とされる「薬剤師として求められる基本的な資質」
- 内容
 - 医学・歯学とほぼ共通化（同時改訂）
 - プロフェッショナリズムという文言が組み込まれた

10の資質

薬学	医学・歯学
プロフェッショナリズム	
総合的に患者・生活者を見る姿勢	
生涯にわたって共に学ぶ姿勢	
科学的探究	
専門知識に基づいた問題解決能力	
情報・科学技術を活かす能力	
薬物治療の実践的能力	患者ケアのための診療技能
コミュニケーション能力	
多職種連携能力	
社会における医療の役割の理解	

学修目標数342

高野調べ

- R4版
 - 小項目数114
- H25版
 - SBOs 1,073項目
- H25版では、学習成果基盤型教育の考え方を取り入れつつ、従来のプロセス基盤型教育の考え方（従来のGIO、SBOsのこと）も混在していたものが、名実ともに学修成果基盤型教育の考え方に統一された。

本日は、アウトラインのご紹介のみですが、
追い追いお知らせする機会があると思います。



↑
R4版ガイドラインへ



↑
文科省；薬学教育の頁へ



↑
R4版本文へ